

# SAT通信



## NO2

教職支援センター「より良いSAT活動研究会」発行 2023/07/20

前期SAT活動も昨日で終わりを迎えました。約二五〇名の学生が、都留市内小中学校・西桂町小学校にお世話になり、学校現場でしか体験することが出来ない貴重な学びを得ることができています。学生は大学内でもカンファレンスを重ねながら、後期のSAT活動が更に実りある活動となるよう取り組んでいます。

### 『より良いSAT活動研究会』 現職教員の相談活動スタート

都留市内小学校の四名の現職教員のご協力を得て発足した『より良いSAT活動研究会』ですが、既に二回の全体会を開催し、SAT活動の成果と課題を明らかにしながら、今後の学校現場と大学の発展的な連携について検討を重ねています。



その一つの新たな試みとして、学生との相談活動が、いよいよスタートしました。前期は、まず7月5日と7月19日に実施しましたので、その様子の一端をご紹介します。

#### 【学生からの相談内容の一部】

- \*授業中、授業と全く関係ないことを友達と喋る子がいた時、どうすればいいでしょうか？
- \*宿題をしない子への対応は？
- \*教師で大変な仕事は何ですか？

谷一小 河野先生と学生



- \*SAT活動での声かけの仕方を教えてください。
- \*教育実習では、どんなことを見るといいですか？
- \*授業内での発言の扱い方は？

東桂小 雨宮先生と学生



#### 目指そう!! 「他がうらやむ都留の教育」

### SAT活動視察団来校 ~千葉県船橋市より~

6月16日、千葉県船橋市小・中・特別支援学校教務主任研究協議会小学校第三部会の先生方9名が、船橋市の「大学生による学生サポート制度」実施を受けて、先進的に実践している本学のSAT活動を視察に来校されました。

小中学校現場での活動視察は時間が合わず、大学内での説明になりましたが、その際にSAT活動を経験した3名の学生が各々の実体験を語ってくれました。学生の生の声を聞くことで、本学のSAT活動についてより明確に理解されたようで、沢山のお褒めの感想を頂きました。目指すべき「他がうらやむ都留の教育へ」に向けて、一歩前進できた出来事になりました。

#### \*\*\*\*\* 以下は御礼状の一部抜粋です \*\*\*\*\*

今回の視察において、都留文科大学の教員養成システムが高度で緻密なものであることに感銘を受けました。教員養成は「一日にして成らず」を地でいくカリキュラムがきめ細やかに整備されていると感じました。SAT制度についても、授業支援だけでなく、放課後学習のサポートや特別な支援を必要とする児童生徒への個別支援についても網羅されており、都留市在住の児童生徒にとって、大変有益な事業だと感じています。



#### 【相談を終えての学生の感想】

\*お二人の先生の話聞いて、SATや教育実習、今後の取り組みなどについて具体的な解決策が分かった。特にクラスの雰囲気や子どもの実態を気をつけて見ることで、その子に合った声かけや、授業内容の工夫を考へることが出来ることに気づけた。  
\*生の先生方に話を聞いて良かったです。自分自身、教師としての軸を考えてい

るので、とても良い機会になりました。次回も参加できたら幸いです。

#### お礼

前期には、都留市内小中学校にご勤務の様々な職種の教職員の皆様方や、富士・東部教育事務所の指導主事の先生方にご来校頂き、教職について理解を深める教職講座も開催しました。皆様のご協力にお礼申し上げます。